

# 監督・選手注意事項

- 1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行う。
  - 2 選手の保護者及び関係者の応援はスタンドで行い、ごみは各自持ち帰りとする。  
トラック競技スタート時の応援はしない。
  - 3 次の事項には特に注意を払う。
    - (1) スパイクシューズを使用してもよい。(全天候型9mm以内の平行ピン)  
「裸足」は認めないので運動靴を用いる。
    - (2) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、停止の姿勢がとれる場合はスタンディングスタートも認める。
    - (3) リレー競技におけるテークオーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認める。
    - (4) 友好レース(リレーメンバーから外れた選手の100m競技)に出場を希望する選手は、受付時に係に申し出ること。
    - (5) 参加申し込み後の選手の種目変更は認められない。
  - 4 選手の招集は、第1ゲート(100mスタート付近)付近で行う。トラック競技は、競技開始時刻20分前、フィールド競技は、競技開始時刻30分前に集合する。  
招集場所へは、混雑をさけるため、選手のみ集合すること。保護者や引率者はスタンドで待機する。
  - 5 練習場として、開会式までは本競技場を提供するが、競技の準備等の妨害をしないように注意すること。競技開始後は、本競技場バックストレートを提供するが、競技役員の指示に従って練習する。
  - 6 トラック競技はすべてタイムレースになる。同記録の場合は、監督が抽選を行い、上位8名を決定する。オープン種目の4年100mについても同じ。  
走幅跳の試技は2回とする。ジャベリックボール投の試技も2回とする。  
走高跳は、競技者が指定した高さから試技を開始する。跳び方は、「はさみ跳び」とする。背面跳びやベリーロールは認めない。
  - 7 各種目の8位入賞者全員に賞状を授与する。入賞者通告後、速やかに雨天走路中央付近に集合すること。  
記録証は出場者全員に配布する。受付時にチーム(学校)の責任者に配布。
  - 8 各種目の5位入賞者(リレーは8位)まで、6月23日(日)の県最終選考会に出場できる権利を有する。表彰式終了後、最終選考会に出場するかしないかの確認をとるので、無断で帰宅しないように。無断で帰宅した場合は、棄権と判断するので注意すること。
- ※ 4年100mについては、全国大会種目ではないが、県最終選考会においてもオープン種目として実施するため入賞者から出場の確認をとることとする。